

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【I・V】
2 実施対象者	札幌市立南の沢小学校 第6学年 72名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向かって努力した人との出会いを通じ、自分の将来についての考えを具体的に深めていくための視点をもつ。 ・冬季オリンピック競技出場までの苦労や経験をもとにした講話をいただき、直接触れ合うことで、自分の将来に対する夢や希望を感じ、具体的な日々の取組につなげる。
5 取組内容	<p>○指導計画【2時間扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルペンスキー競技について知ろう（1時間） ・湯淺直樹氏 講演会（1時間） <p>※総合的な学習の時間『12歳のハローワーク』（進路探究学習）として取り組んだ。（10時間扱い）</p> <p>○取組の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校教諭による事前学習【アルペンスキー競技について知ろう】 <p>競技特性や使用する用具、必要な技術などについて説明した。</p>



	<ul style="list-style-type: none"> • オリンピアン【湯浅直樹氏】による講演 小学生で競技を始めた時のことから、高校、大学時代など、競技生活でいくつも壁があり、そのたびに「おもしろい！」と自分を奮い立たせた経験をお話いただいた。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><児童の感想より></p> <ul style="list-style-type: none"> • 湯浅さんは、どんなにひどいことを言われても「おもしろい」って受け止められることがすごいと思いました。そして、けがをしたりしても、あきらめずに続けたところがいいと思いました。私も将来、仕事を始めたとしたら、何事にもあきらめずに続けられる湯浅さんみたいになりたいと思いました。 • 湯浅さんの「おもしろい」という言葉がだれに何を言われてもあきらめず、くじけないでオリンピック選手になっていたのが伝わりました。アルペンスキーに全力をつくして毎朝走るなどの努力を続けていったのがすごいと思いました。子どものころから目指す夢をかなえられるのは自分しかないなあとも思いました。自分の好きなことを努力とあきらめないという気持ちでがんばる湯浅さんはすごい人だなと思いました。 </div>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 総合的な学習の時間【12歳のハローワーク】の一環として取組を進めた。今から自分たちができることを考え、取り組もうとする意欲を高めることができた。 • 地域にある学校に在学していたこともあり、オリンピック競技をより身近に感じることもできた • この後の学習での「お仕事ブック」作成時にも、夢をもって努力することの大切さを考える児童が多く見られた。
<p>7 実践において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 競技スキーを身近に感じることができるよう、競技用の用具の実物や、ポールの練習風景の動画を用意した。 • 進路探究学習の一環として、具体的な人物の例として取り上げることで、年間を通じた意欲の継続を図った。 • 社会科の戦後史の中でオリンピックについて扱う場面で、より共感的に学びを進めることができた。
<p>8 主な課題等</p>	<p>進路探究学習の一環として取り上げたことで、オリンピックやパラリンピックについて主体的に調べ、学ぶ時間が十分ではなかった。</p>
<p>9 今後の取組について</p>	<p>今回の学習、活動を生かし、今後、学校として社会科や総合的な学習の時間における国際理解の領域で、オリンピック・パラリンピックを活用した教材化を行っていく。</p>